

# 決に期待

排水不良対策として農地の排水不良問題工でかさ上げされる農地にしたい」と期待

県が2005年度に実施した調査によると、中海沿岸の排水不良農地は米子市彦名・崎津両地区に計104

畝ある。両地区の農事実行組合は県などに改善を要望していたが、多額の地元負担がネックとなつて対策は進んでいなかった。

今回は地権者約30人が昨年11月、同市霞津の3・3畝を排水不良解消のモデル地区とすることでもとまり、残土の投入が実現。このうち約1畝に近くの海上保安庁美保航空基地のエプロン新設工事で発生した約3千立方メートルの残土を搬入し、農地を約20センチかさ上げる。国土交通省が残土処理として実施するため、地元負担はない。搬入は今月末まで続

父親がモデル地区内

の農地を所有する石橋さんは「遊休農地が増える中、水はけのいい農地が空いているという考えもあるかもしれない。しかし、われわれの祖先が開拓した農地を改良し、後世に引き継ぎたい」と話す。今回の対象は約100畝に上る排水不良農地のごく一部にすぎない。今後、同様の方法で農地をかさ上げする

ためには大量の残土が必要となるが、公共工事の削減で残土の確保が難しいという課題もある。米子市は「市だけで解決できる問題ではな

い(農林課)として、国や沿岸自治体でつくる「中海会議」で情報を共有することなどを通じ、残土の確保を目指すことにしている。



倉吉の新たなパワースポットとして話題の九曜星占盤=10日、倉吉市鍛冶町の満正寺

## 「遙か」な場所に パワースポット

巨大星占盤お目見え

倉吉・満正寺

倉吉市の中心市街地にある古刹の境内に、直径8.5メートルの巨大な星占盤がお目見えした。対人関係や相性、開運を遊び感覚で占うことができ、カップルや夫婦、友人同士が訪れる「パワースポット」として密かに注目を集めている。

星占盤があるのは、同市鍛冶町丁丁目の満正寺(石田英俊住職)。同寺は鳥取市出身の漫画家、谷口ジロー氏が倉吉を舞台に描いた「遙かな町へ」で主人公がタイムスリップした場所として登場している。

岩田住職によると、

ホームページで動画が見られます

えれば、観光客らが倉吉の町を歩く魅力づく」と話している。

## ととリン行きます!

PRキャラバン隊出発

来年初に鳥取市で開催される「第31回全国豊かな海づくり大会」をPRするキャラバン隊が結成され、10日に県庁前で出発式があった。大会キャラクターの「ととリン」が隊長



週末には県外カップルが訪れるといい、岩田住職は「日々の生活を前向きにし、恋愛や対人関係の目安にする気持ちで楽しんでもら

豊漁も期待や気な「食の目指し大会をきたい」とまカニの帽子をポシエットした「ととリン」魚ヒラメの形長任命状を手またキャニ原田隆博副隊「海や山、川にする活動をんを応援する域を回りまお宣言した。

県は、国の雇用創造事業活用し、PR託先で8人をて新規雇用。2班に分かれ開催されるホトや集客施設開し、大会を問し、大会を同大会は陛下の出席の都道府県を巡開催されてお9・10月に9程で開催され会では、鳥取場に、稚魚の船パレードが予定。

ホームページで動画が見られます

国内最高水準の技能者

工所を営み、神社